

# G空間×熊本地震復興シンポジウム

がんばろう熊本！！

～復興を目指してG空間の果たす役割～

- 開催日** 平成 28 年 11 月 19 日 (土)
- 場 所** 熊本学園大学 高橋守雄記念ホール  
(熊本県熊本市中央区大江2丁目5番1号)
- 主 催** (一社)九州G空間情報実践協議会
- 後 援** 内閣府(防災)、内閣府宇宙開発戦略推進事務局、総務省九州総合通信局、  
農林水産省九州農政局、経済産業省九州経済産業局、国土交通省九州地方整備局、  
国土地理院九州地方測量部、熊本県、人吉市、熊本学園大学、九州大学、熊本大学、  
鹿児島大学、(一財)衛星測位利用推進センター、(一社)九州経済連合会、  
(一社)熊本県工業連合会、熊本経済同友会、熊本商工会議所

## プログラム

### 開 会

**主催者挨拶** 代表理事 田中 信孝

### 来 賓 挨 拶

**基調講演 1** 「G空間社会の実現に向けて」  
新藤 義孝 氏 (衆議院議員・前総務大臣)

**基調講演 2** 「準天頂衛星システムが切り拓く新産業・サービス」  
守山 宏道 氏  
(内閣府宇宙開発戦略推進事務局 準天頂衛星システム戦略室長)

**基調講演 3** 「G空間情報センターと災害対応への貢献」  
柴崎 亮介 氏  
(東京大学 空間情報科学研究センター教授)

**基調講演 4** 「熊本地震発生から今日までの対応と今後の課題」  
本田 圭 氏  
(熊本県知事公室 危機管理監)

**基調講演 5** 「G空間技術への期待と普及展開 (ビデオ講演)」  
-大阪地下街事例から考える-  
西尾 信彦 氏 (立命館大学 情報理工学部 教授)

### パネルディスカッション

講演者4名に、鹿児島大学 教授 寺岡行雄 氏、情報通信機構 上席研究員 三浦龍 氏をお迎えして「テーマ」をテーマにパネルディスカッション

### 熊 本 宣 言

### 閉 会



# 登壇者プロフィール

## 新藤 義孝 氏（衆議院議員 [前総務大臣]）

埼玉県第2選挙区（川口市・当選6回） 明大卒  
<現職>

- 自由民主党 政調会長代理、経済好循環実現委員会・委員長、地方創生実行統合本部・筆頭本部長代理、G空間情報活用推進特別委員会・委員長、領土に関する特命委員会・委員長
- 衆議院 外務委員会・筆頭理事、地方創生に関する特別委員会・理事
- 議員連盟 日本の領土を守るため行動する議員連盟・会長
- 第二次安倍内閣(2012年12月26日～2014年9月3日)で総務大臣兼内閣府特命担当大臣（地方分権改革）、内閣府地域活性化・国家戦略特区・道州制・郵政民営化各担当大臣に就任。



## 守山 宏道 氏（内閣府宇宙開発戦略推進事務局 準天頂衛星システム戦略室長）

東京大学法学部卒業。通商産業省入省後、米国コロンビア大学大学院修士課程修了（公共管理学）、外務省在フランス経済協力開発機構日本政府代表部一等書記官、中小企業庁国際室長、資源エネルギー庁国際エネルギー戦略室長兼省エネルギー・新エネルギー部国際室長などを経て、2014年7月より内閣府宇宙戦略室参事官、本年9月より準天頂衛星システム戦略室長。



## 柴崎 亮介 氏（東京大学 空間情報科学研究センター 教授）

東京大学工学部土木工学科卒業。東京大学大学院工学系研究科土木工学修士課程修了。建設省土木研究所研究員、東京大学工学部助教授、東京大学生産技術研究所助教授を経て、東京大学空間情報科学研究センター教授、東京大学生産技術研究所教授（兼任）、東京大学空間情報科学研究センターセンター長に就任。GIS学会長、ISO TC211（地理情報）にて空間データの品質評価手法の国際標準作成に関するプロジェクトリーダー、GEO（地球観測グループ）のデータ・構造委員会共同議長（2008～現在）、G空間×ICT推進会議座長を務める。



## 本田 圭 氏（熊本県 知事公室 危機管理監）

昭和51年4月、熊本県入庁。企画振興部文化世界遺産推進室長、企画振興部文化企画課長などを歴任し、平成28年4月より現職。



## 西尾 信彦 氏（立命館大学 情報理工学部 教授）

東京大学工学部計数工学科卒業。東京大学大学院理学系研究科情報科学専攻修了。1993年より慶應義塾大学環境情報学部および政策・メディア研究科に勤務。2003年より立命館大学理工学部にて赴任。2005年より同大学情報理工学部教授（現職）。2000-2004年JSTさきがけ研究21「協調と制御」領域研究者、2007-2008年Google Inc. Visiting Scientistを併任。博士（政策・メディア）。2014年度より総務省のG空間シティ構築事業、G空間防災システムとLアラートの連携推進事業、国土交通省の高精度測位社会プロジェクト、日本消防設備安全センターのG空間消防救助システム検討会等に参画、東京、大阪、名古屋地区の地下街防災事業の社会実装と消防設備・装備・救助活動の高度ICT化を推進。



## パネリスト

寺岡 行雄 氏（鹿児島大学 農水産獣医学域農学系 教授）

三浦 龍 氏（情報通信機構 上席研究員）

